

# 北大リサーチ&ビジネスパーク地域

## 世界をリードする「健康科学・医療融合拠点」の形成

### 総合調整機関

公益財団法人 北海道科学技術総合振興センター  
〒001-0021  
北海道札幌市北区北21条西11丁目  
北海道大学北キャンパス総合研究棟3号館 3F  
TEL011-757-2288

### 参画機関（太字はプログラム実施機関）

- 産…北海道経済連合会、**公益財団法人北海道科学技術総合振興センター**
- 学…**北海道大学**
- 官…北海道、札幌市、北海道経済産業局、北海道開発局、北海道立総合研究機構、ほか
- 金…日本政策投資銀行



プロジェクトディレクター  
**西岡 純二**

略歴：北海道電力株式会社総合研究所次長等を経て、平成22年公益財団法人北海道科学技術総合振興センター常務理事（現在に至る）

北海道の独自性・優位性を背景に、蓄積してきた知識や技術を活かしながら、世界をリードする医療技術や医薬品、さらには食素材が持つ生体機能に着目した「健康科学と医療の融合」、メディカルツーリズム、フィットネスなど、人間の総合的な健康の維持・増進・回復を目指す「ヘルスイノベーション」を展開していく。

### 地域イノベーション戦略

現代人は、心や体に様々な問題を抱えている。ストレスによる精神疾患、ライフスタイル・食生活の変化による慢性疾患、高齢化や医療の進歩など健康に対する意識も大きく変わった。そこで、北海道の独自性・優位性を最大限活用し、食の生体調節機能に着目した「健康科学と医療の融合」など人間の総合的な健康の維持・増進・回復を目指すヘルスイノベーションを展開する。

### 事業の内容

#### 1. 地域イノベーション戦略の中核を担う研究者の集積（実施機関：国立大学法人北海道大学）

「ヘルスイノベーション」の展開に向け、柱1) 食の機能性に関する分析・評価拠点の機能強化、柱2) 食素材の高付加価値化と「北海道ブランド」の確立、柱3) 予防医療や世界における共通課題克服への貢献、の3つの柱で研究開発を推進する。各分野に最適な研究者を北海道大学に13名招聘し、研究開発の加速化を図る。

#### 2. 地域イノベーション戦略実現のための人材育成プログラムの開発及び実施（実施機関：国立大学法人北海道大学、公益財団法人北海道科学技術総合振興センター）

＜国立大学法人北海道大学＞

「食」と「医」の融合領域における研究開発プロジェクト立ち上げや、事業化・国際連携などに関する総合的なマネジメント能力を有するプロジェクトマネージャー育成を目的に、「プロジェクトマネージャー育成プログラム」を実施する。

＜公益財団法人北海道科学技術総合振興センター＞

「食の機能性に着目した食品開発」や「機能性検証のためのヒト介入試験のコーディネーター」などに関する高度な知見を備えた人材の育成・集積を図るとともに、「健康科学・医療融合拠点」形成を支える「ヘルスイノベーション」実践者育成のためのプログラムを開発し、「ヘルスイノベーションカレッジ」として実施する。

#### 3. 大学等の知のネットワークの構築（実施機関：公益財団法人北海道科学技術総合振興センター）

「健康科学・医療融合拠点」の形成を推進していくために、国内外の研究開発拠点との連携や研究開発から事業化までの一貫した調整・支援機能を担う「地域連携コーディネーター」（5名）を公益財団法人北海道科学技術総合振興センターに配置する。各コーディネーターは、知のコンソーシアム形成や、研究開発プロジェクトの立ち上げ、研究成果の事業化や広報戦略の推進、道内外の企業等とのマッチングなどの役割を担う。

#### 4. 地域の大学等研究機関での研究設備・機器等の共用化（実施機関：国立大学法人北海道大学）

北海道における「食」・「健康」に関する機能性分析・評価機能の強化とあわせ、その機能の企業等との共用化を進めることで、道産食素材・食品の高付加価値化や産学官連携による共同研究を促進し、地域経済の活性化に資する。